

目 次

緒言——『センス・オブ・ワンダー』から学べること——……	嘉田由紀子	i
はじめに……	村上紗央里	ii

第1部 レイチェル・カーソンを手がかりとした教育プログラム

第1章 レイチェル・カーソンの生涯と思い——	村上紗央里	2
第2章 レイチェル・カーソンから広がる新たな教育実践——	村上紗央里	15

第2部 環境問題への理論的アプローチ

第3章 人間にとっての「環境」とは何か——	鈴木 善次	34
第4章 環境問題や環境政策をどのように考えればよいのか——	新川 達郎	45
第5章 戦後日本公害史とレイチェル・カーソン——	宮本 憲一	63
■ 受講生からの感想	84	

第3部 環境問題への実践的アプローチ

第6章 エネルギー・温暖化問題から環境を考える——	田浦 健朗	88
第7章 「水銀に関する水俣条約」をふまえた国内対策——	原 強	103
第8章 枯れ葉剤被害から環境を考える——	坂田 雅子	111

第9章 身近な食生活と環境とのつながり—————鈴木千亜紀 126

■ 学生スタッフからの感想 133

第4部 現代に生きるレイチェル・カーソン

第10章 レイチェル・カーソンが伝えたかったこと—————上遠 恵子 138

第11章 命にこだわる政治を求めて—————嘉田由紀子 149

■ レイチェル・カーソン日本協会会員からの感想 164

第5部 「レイチェル・カーソンに学ぶ」教育実践の成果と課題

第12章 教育実践の成果と評価—————村上紗央里 166

第13章 アクティブ・ラーニングによる
公共政策学導入教育の可能性—————村上紗央里・新川達郎 185

おわりに……………新川 達郎 203